

2016 年度（平成 28 年度）事業報告

1. はじめに

日中関係は依然として厳しい状況が続いているが、そうしたなか、昨年 9 月、杭州で行われた杭州 G20 サミットと 11 月にペルーで開かれた APEC 期間中には、習近平国家主席との首脳会談が開かれ、また中国からの訪日旅行者が 640 万人に達し、日本からの大型ミッションが徐々に増えるなど、停滞から少しずつではあるが、前進の兆しが見えつつあります。

2. 第 15 回日中友好交流会議

（公社）日中友好協会が中国側と共催した第 15 回日中友好交流会議が 11 月 7・8 日、湖南省長沙市で開催され、日中双方の約 240 人が民間交流のあり方について深く議論した。会議では、「両国関係が困難でも粘り強く民間交流を続け、国民感情改善につなげる」ことなどを確認。また、来年の日中国交正常化 45 周年を双方で盛り上げていくことでも一致した。

日本側は丹羽宇一郎会長ら協会役員をはじめ約 140 人が参加。中国側は唐家璇・中日友好協会会長、許達哲・湖南省長代行、宋敬武・中国人民対外友好協会副会長ほか、各地の対外友好協会等の関係者約 100 人が参加した。

初日午前は開会式が行われ、袁敏道・中日友好協会秘書長が司会を務めた。日本側を代表してあいさつした丹羽会長は「民間レベルの交流の積み重ねは関係発展の礎になる」と強調。その上で「関係改善のために必要な具体策とその実行が大切だ」と訴えた。一方、唐会長は「民間友好は中日関係ならではの強みであり、重要な支えだ」と述べ、来年の国交正常化 45 周年を日中双方の積極的な民間交流で盛り上げるべきだと主張した。許省長代行もあいさつを述べ、その後は宇都宮徳一郎・協会副会長と宋副会長が双方の代表として基調報告を行った。

2 日目の閉会式では、分散会の座長 3 人がそれぞれ総括報告を行い、参加者は成果を共有。日中両政府間に存在する諸問題を認識しつつ、「粘り強く民間交流を続け、先人が築いた友好の維持、国民感情の改善に努めていく」ことで一致した。

2 日間の会議を通じて、参加者は「友好こそが両国の明るい将来を創る」という共通認識を持ち、友好活動・事業の継続に向け、決意を新たにした。

3. （公社）日中友好協会代表団

協会は第 15 回日中友好交流会議に合わせ、丹羽宇一郎会長を代表とする代表団の派遣を行った。一行は 11 月 7 日、交流会議開会前に唐家璇・中日友好協会会長、許達哲・湖南省長代行ら中国側代表団と約 30 分間会見した。唐会長は「その時代に合った民間交流の方向性を毎回示してきた」と交流会議の意義を改めて強調。また許省長代行が宇宙ロケット「長征」の発射計画に携わった航空エンジニアであることを紹介した。

7 日昼は、宋敬武・中国人民対外友好協会副会長主催の昼食会に招かれた。宋副会長は「開会式で

の唐会長と丹羽会長のあいさつを聞き、中日両国の明るい未来が見えた。可能性も感じた」と述べ、代表団をもてなした。

会議閉幕後の8日午後は高速列車で岳陽市へ。杜甫や李白ら著名な詩人が訪れ詩を詠んだ岳陽楼を見学した。現地では丹羽会長が地元テレビ局の取材を受け、岳陽の印象を聞かれる場面もあった。夜は岳陽で湖南省人民対外友好協会主催の夕食会が催され、湖南滞在中の代表団の日程すべてに同行した劉啓峰副会長が「范仲淹が岳陽楼に残した『先憂後楽』(先に苦勞すれば後に楽しみが訪れる)の精神は中日友好の促進にも役立つ」と述べて乾杯。双方が歌や詩吟を披露し合い、にぎやかな思い出に残る夕食会となった。

4. 中日友好協会代表団

唐家璇会長(元国務委員)を団長とする中日友好協会代表団11名が(公社)日中友好協会の招聘により9月25日から29日まで来日し、東京都と長野県を訪れた。

26日夜には都内のホテルで丹羽宇一郎協会会長ら日中友好7団体代表と会見。唐会長は2017年の日中国交正常化45周年、18年の日中平和友好条約締結40周年の節目は関係改善の好機との見方を示した。

唐会長は滞在中、都内で岸田文雄外相ら政界関係者と会見したほか、日中関係がテーマの会合で講演した。また長野県では、阿部守一知事と会見。長野県日中友好協会主催の懇談会にも出席した。

5. 協会の組織運営

(1) 今年度は、定時総会1回、理事会3回(定例理事会3回)、業務執行理事会5回を開催した。

第7回定時総会(6月16日開催)は2015年度事業報告と収支決算報告を承認し、さらに任期満了に伴う理事及び監事選任を行い承認した。

第25回定例理事会(1月24日開催)は2017年事業計画と収支予算を承認した。

(2) 2016年度末現在、41の都道府県日中友好協会(以下県協会と略す)が入会している。未入会は群馬県、奈良県、宮崎県、沖縄県の4県。未組織は島根県、長崎県の2県である。

(3) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、京都府、大阪府、岡山県(10県協会)

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、熊本県、大分県(19県協会)

(4) 日中友好秋季セミナー

協会は2016年12月3・4の両日、千葉県鴨川市にある鴨川グランドホテルで第3回日中友好セミナーを開催した。橋本逸男副会長ら協会員34人と、汪婉参事官、景春海参事官ら駐日中国大使館員24人が参加し、日中国民感情の改善策や協会活動の現状と課題などについて意見を交わした。

セミナーは中国大使館が後援し、千葉県日中友好協会が協力。大使館各部門の若手外交官が多

く参加した。

6. 講演会等

(1) 講演会

3月13日 岡崎温理事長が日中青年プロジェクト 2017 ～友好の歴史を探る旅（日中双方の大学生）で講演。

7. 青少年交流

(1) 第7回宋慶齡国際青少年交流キャンプ

中国宋慶齡基金会（北京市）が主催する「第7回宋慶齡国際青少年交流サマーキャンプ」が7月24日から31日まで行われ、今回も（公社）日中友好協会は日本の窓口となり、日本人高校生8名、事務局1名を派遣した。

同キャンプは「IN CHINA, BE FRIENDS」を合言葉に各国の青少年が中国に集い、様々な交流を通して相互理解を深めることを目的としている。今年も猛暑の北京に世界2カ国の青少年約300人が集まり交流した。

(2) 日中友好大学生訪中団

2016 日中友好大学生訪中団 第2陣

期間 9月6日～12日、訪問都市 北京、成都、上海

人数 108名（大学生100名、団役員事務局8名）

※北京（北京第二学国語学院）および成都（電子科技大学）にて中国の大学生と交流。

2016 日中友好大学生訪中団 第3陣

期間 10月13日～19日、訪問都市 北京、西安、上海

人数 105名（大学生97名、団役員事務局8名）

※北京（国際関係学院）および西安（西安外国語大学、培華学院）にて中国の大学生と交流。

2017 日中友好大学生訪中団 第1陣

時期 3月24日～30日、訪問都市 北京、曲阜、済南、上海

人数 108名（大学生99名（一般団69名、囲碁団30名）・団役員事務局9名）

※一般団：北京（国際関係学院）、済南（山東大学）にて中国の大学生と交流。

囲碁団：北京（中国棋院）、済南（囲碁協会）にて囲碁交流。

8. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

7月24日～31日	第7回宋慶齡国際青少年交流キャンプ参加訪中	10名
9月6日～12日	2016 日中友好大学生訪中団第2陣（団長・西堀正司専務理事）	100名
10月13日～19日	2016 日中友好大学生訪中団第3陣（団長・大薮二朗常務理事）	97名
11月6日～10日	（公社）日中友好協会代表団	11名

11月7日～8日	第15回日中友好交流会議	130名
3月2日～6日	第34回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会優勝者	3名
3月24日～30日	2017日中友好大学生訪中団第1陣（団長・酒井哲夫常副会長）	99名
	計6団	450名

(2) 訪日団等の受入

9月25日～29日	中日友好協会代表団（団長・唐家璇会長）	11名
	計1団	11名

(3) 中国の関係機関との交流

4月6日	* 丹羽宇一郎会長、武大偉朝鮮半島問題特別代表と懇談	
6日	* 王捍忠中国国際青年交流センター副主任一行来訪	
13日	* 景瑩上海市人民対外友好協会副会長一行来訪	
19日	* 袁敏道中日友好協会秘書長一行来訪	
6月5日	* 曹文堂南京市人民対外友好協会副会長一行来訪	
22日	* 槐国棟山東省公安厅副庁長一行来訪（岡崎、永田）	
14日	* 2016年北京青少年キャラバン訪日団歓迎会	
8月3日	* 「JENESYS2.0」2016年度中国青年代表団、2016年度中国農村青年幹部代表団歓迎会	
9月12日	* 「JENESYS2.0」2016年度中国高校生訪日団第1陣歓迎会	
20日	* 「JENESYS2.0」2016年度大学生訪日団第27陣歓迎会	
26日	* 日中友好七団体主催唐家璇先生歓迎夕食会	
10月24日	* 「JENESYS2.0」2016年度大学生訪日団第28陣歓迎会	
26日	* 「JENESYS2.0」2016年度中国高校生訪日団第2陣歓迎会	
11月15日	* 「JENESYS2.0」第二十一回中国教育者代表団歓迎会	
12月7日	* 「JENESYS2.0」2016年度中国高校生訪日団第4陣歓迎会	
12日	* 「JENESYS2.0」2016年度大学生訪日団第29陣歓迎会	
17日	* 長沙市人民政府厲江華副秘書長一行来訪	
3月8日	* 「JENESYS2016」中国大学生訪日団歓迎会	
24日	* 中国六朝文化紹介写真展・講演会	

(4) 在日中国機関との交流

4月12日	* 岡崎温理事長、汪婉中国大使館友好交流部参事官と懇談
8月9日	* 大使館友好交流部との打ち合わせ
19日	* 2016年度中国政府奨学金壮行会
24日	* 大使館商務部との懇談
9月8日	* 心に映る中国・訪中日本人観光写真コンテスト授賞式
24日	* 東京華僑総会国慶67周年記念祝賀会

- 29日 *中華人民共和国成立67周年祝賀レセプション
- 10月21日 *汪婉駐日中国大使館友好交流部参事官講演会、青年委員会対談
- 28日 *P a n d a 杯全日本青年作文コンクール 2016 授賞式
- 11月15日 *人民日報海外版日本月刊創刊5周年記念日中企業経営者交流会 2016
- 30日 *丹羽宇一郎会長、程永華大使と懇談
- 12月12日 *(公社)日中友好協会全国女性委員会、汪婉大使館友好交流部参事官と懇談
- 26日 *汪婉中国大使館友好交流部参事官と懇談
- 1月13日 *2017年中日教育交流新年会
- 2月21日 *第1回西日本地区日中友好交流大会
- 22日 *2017年中国大使館・日中友好団体新年会
- 23日 *第二回中国ツアープランニングコンテスト 2016 授賞式
- 3月 1日 *中国国際貿易促進委員会駐日本代表処王俐総代表と懇談

(5) その他

- 4月 5日 *中国“新徽派”美術作品展開幕式
- 18日 *書聖王羲之古里・臨沂市歴史文化展開幕式
- 7月12日 *綦江農民版画展開幕式
- 25日 *溯源尋道・上海中青年書画家5人東京展開幕式
- 9月 5日 *「三峡ダム建設に関わる文化財保護」開幕式
- 6日 *日中書画交流会開幕式
- 10月12日 *「記憶・重慶-中国画作品展」開幕式
- 22日 *「世界文化遺産-大足石刻芸術展」開幕式
- 24日 *日中友好書法交流展
- 12月 5日 *「烏龍茶の故郷-福建及び福清黄檗印象」開幕式
- 18日 *日中友好祈念公演「西域流光」
- 20日 *オペラ「鑑真東渡」東京公演
- 1月11日 *第一回「雅・静筆墨～書画真情」中日書画展開幕式
- 18日 *上海歴史建築巡り写真展開幕式
- 20日 *「上海旧校場木版年賀展」開幕式および「春節音楽会」
- 3月13日 *『好夢麗江～探古東巴紅』中国当代民族画家劉立群作品日本展

8. 留学生派遣事業

(1) 2016年度公費留学

中国教育部及び中国大使館教育部の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、18名を中国各地の大学に派遣した。留学期間は1年間。

4月15日 中国大使館教育部に公費留学申請書提出。

7月28日 中国大使館教育部より入学許可書を受領。

8月11日 中国留学研修会を開催。

8月19日 中国大使館教育部は「2016年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催。

8月下旬から9月上旬 派遣先にて留学開始。

(2) 2017年度公費留学派遣

1月5日～2月6日 出願受付（応募者数46名）

2月10日 一次選考（書類審査）

3月13日 二次選考（面接試験）、20名を内定。

9. 中国語普及事業

(1) 第34回全日本中国語スピーチコンテスト

「第34回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会」が1月8日、東京・文京区の日中友好会館大ホールで開催され、(公社)日中友好協会が行う日中国交正常化45周年の記念行事が華やかにスタートした。19の都道府県大会を勝ち抜いた20人が学習成果を競い合い、「私の日中友好」を熱弁した。

大会は、高校生・大学生・一般の3部門で行われ、5分間のスピーチと質疑応答で競い合った。主催者を代表してあいさつした橋本逸男副会長は、「34回にわたり続いているのは皆様のご支援のおかげ。中国理解のために中国語を学ぶことの意義、役割は大きく、この大会が日中両国関係の改善につながるよう願っている。今後は都道府県大会をより活性化させたい」と述べた。

高校生部門では、戦時中に中国で暮らした曾祖父から伝わる話と自らが訪中して学んだ「日中戦争」について語った埼玉県代表の市ノ川瑞希さん（県立伊奈学園総合高校3年）が、大学生部門では、長春での留学中に参加した運動会において、日の丸を掲げて入場することになったエピソードを友好の思いをこめて紹介した埼玉県代表の西村愛未さん（神田外語大学4年）がそれぞれ第1位に輝いた。

一方、一般部門では長野県代表で教員の二木さんが第1位となった。二木さんは、日本で習い始めた二胡への思いが、大連留学中に知り合った二胡の先生との心の交流を通じてさらに強まっていたことを紹介。全入賞者の中から日中相互理解に貢献した一人に贈られる日中友好協会会長賞も受賞した。

当日は、汪婉・駐日中国大使館参事官ら来賓をはじめ、出場者の家族や友人など約150人が観覧した。また朗読部門入賞者による発表会も行われた。大会は外務省、文部科学省、中国教育省、NHKなどが後援。各部門第1位の3人には副賞として中国旅行が中日友好協会から贈られ、協賛の全日空が航空券を提供した。

(2) 第43回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国3会場で開催した。

10. 丹羽宇一郎奨学金

(1) 2016年度は、3名の在日中国人留学生に奨学金の支給を行った。

(2) 2017 年度に奨学金の支給を希望する在日中国人留学生の募集と選考を行った。

11 月 11 日～18 日 応募受付 (応募者数 91 名)

11 月 29 日 書類審査

3 月 4 日 面接試験 (3 名を内定)

1.1. 日中友好 7 団体等との提携事業

(1) 日中友好 7 団体提携

5 月 13 日 *日中友好七団体主催横井・木寺新旧駐中国大使歓送迎会

9 月 26 日 *日中友好七団体主催唐家璇先生歓迎夕食会

2 月 22 日 *2017 年中国大使館・日中友好団体新年会

(2) 後援・協力は公演・展覧会等 62 件

1.2. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

ホームページを開設している県協会は 25 県協会 (前年比増減なし) メールアドレスを持っている県協会は 31 県協会 (前年比 1 増) であった。一定の事柄については、メールでの連絡を行っている。

(2) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は毎月 1 日付け、12 回発行。

② 「友好手帳」2017 年版を 9 月に発行。

③ 平山郁夫作品カレンダー2017 は 11 月～12 月に発売。

④ 1 月 24 日、2017 年日中友好新年会 ((NPO) 東京都日中友好協会と共催) を開催。

以 上